

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

年間スケジュール

2025 — 2026



みんなで探す
ふくおかの過去・現在・未来

特別展

魔法の歴史スコープ
～見つめてみよう福岡の今～

2025年4月		5月		6月		7月		8月		9月	
特別展示室	民藝 MINGEI ～4.6(日)	4.24(木)	アニメ「鬼滅の刃」柱展 —そして無限城へ—	6.22(日)		7.12(土)	芥見下々『呪術廻戦』展	9.28(日)			
常設展示室	4.24(木)～5.8(木) 国宝金印貸出(シリアカ展示)期間 FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと				FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと						
企画展示室 1	民具と生活 ～暮らしの中の意匠、暮らしのための設計～ ～4.13(日)	4.15(火)	筑前の刀工 信国	6.15(日)	6.17(火)	戦争とわたしたちの暮らし34				9.15(月・祝)	松永冠山と旧友泉亭杉戸絵
企画展示室 2 (黒田記念室)		4.15(火)	筑前の伝説ことはじめ	6.15(日)							
黒田家名宝展示	福岡藩主夫人の文芸作品	4.8(火)	重要文化財 刀 名物「安宅切」・金鍍鮫青漆打刀拵	6.1(日)	6.3(火)	重要文化財 黒漆塗桃形大水牛脇立兜	7.21(月・祝)	7.23(水)	道ト居士像・黒漆叩塗帽子形兜	9.7(日)	9.9(火) 関ヶ原戦陣図屏風 ～11.3(月・祝)
企画展示室 3	民具と生活 ～暮らしの中の意匠、暮らしのための設計～ ～4.13(日)	4.15(火)	土の中のアクアリウム								～11.9(日)
企画展示室 4		4.15(火)	福岡の玉せせり	6.29(日)	7.1(火)	博多祇園山笠展24				9.7(日)	9.9(火) アジアの激動と福岡ゆかりの人びと2 ～11.9(日)

※国宝 金印「漢委奴国王」は、2025年4月24日(木)～5月8日(木)まで貸出予定で、この間は複製品を展示予定。それ以外の期間は常設展示室で展示。

春季～夏季の特別展のごあんない

特別展示室 4.24(木)～6.22(日)

アニメ「鬼滅の刃」柱展 —そして無限城へ—

本展は鬼殺隊最高位の剣士たちである“柱”にフォーカスします。水柱・富岡義勇、炎柱・煉獄杏寿郎、音柱・宇髄天元、霞柱・時透無一郎、蟲柱・胡蝶しのぶ、恋柱・甘露寺蜜璃、蛇柱・伊黒小芭内、風柱・不死川実弥、岩柱・悲鳴嶼行冥。彼ら柱9人の魅力に様々な形で向き合い、それぞれの個性や想いに焦点を当て、“柱”の想いと共に無限城へと向かっていく展覧会となります。無限城での決戦を控えた今、『アニメ「鬼滅の刃」柱展 —そして無限城へ—』を是非お楽しみください。

© 吾峠呼世晴/集英社・アニプレックス・ufotable



特別展示室 7.12(土)～9.28(日)

芥見下々『呪術廻戦』展

異才が現代に解き放ちしダークファンタジー『呪術廻戦』。今回、その「創作秘話」を解き明かす大型展覧会を開催します。本展覧会では、デジタル手法による『呪術廻戦』の創作工程を、作者・芥見下々氏の解説も交えながら一挙公開。ストーリー、キャラクター、イラストワークの数々は、いかにして生み出され、進化を遂げ、高みへと構築されるのか!? 作者・芥見下々氏の“思考の帳”にぜひ足を踏み入れてみてください。

© 芥見下々/集英社



春季～秋季の企画展のごあんない

企画展示室 1 4.15(火)～6.15(日)

筑前の刀工 信国

刀工・信国は、南北朝時代、京都に登場し、子孫は豊前宇佐に移住し、黒田家の筑前入部とともに福岡に移り、福岡藩の抱え刀工となりました。本展では、館蔵刀剣コレクションから、京信国より筑前信国にいたる信国派の刀剣を紹介します。



企画展示室 2 4.15(火)～6.15(日)

筑前の伝説ことはじめ

現代まで語り継がれる、たくさんの古代のできごと。それはいつから誰が伝えてきたのでしょうか。奈良・平安時代に「起源」をもつ伝説、その典故を紹介します。



企画展示室 3 4.15(火)～11.9(日)

土の中のアクアリウム

福岡市内の土の中(遺跡)からは、魚に関連するモノがたくさん見つかります。本展では、これらの資料を水槽に見立てた展示ケースで紹介いたします。



企画展示室 4 4.15(火)～6.29(日)

福岡の玉せせり

令和7年3月、「筥崎宮玉せせり行事」が福岡市の無形民俗文化財に指定されました。本展は、指定を記念して、その歴史や行事の内容に加え、各地で行われてきた玉せせり行事の特徴などについて紹介します。



企画展示室 1・2 6.17(火)～9.15(月・祝)

戦争とわたしたちの暮らし34

昭和20年6月19日深夜から翌日未明にかけて、アメリカ軍の長距離爆撃機B-29の大編隊が福岡市に飛来し、大量の焼夷弾を投下しました。この「福岡大空襲」によって、市の中心部は焼け野原になりました。34回目となる今回の展示は、「福岡大空襲」と終戦から80年の節目ということで、通常より展示資料数を増やして昭和の戦争の時代を振り返ります。



企画展示室 4 7.1(火)～9.7(日)

博多祇園山笠展24

博多の総鎮守・櫛田神社の祭礼である博多祇園山笠。博物館が所蔵する山笠関係の資料を通して、江戸時代の山笠の様子を紹介します。



企画展示室 1・2 9.17(水)～11.9(日)

松永冠山と旧友泉亭杉戸絵

福岡県出身の日本画家・松永冠山(1894-1965)は、京都の菊池啓月のもとで修行し中央画壇で活躍した人物で、戦後は糸島を拠点に筆をふるい福岡画壇の育成にも力を注ぎました。没後60年の節目に、当館が所蔵する冠山筆の杉戸絵30面を一挙公開します。旧福岡藩主黒田家の別邸・友泉亭を飾った、清廉な花鳥画の数々をお楽しみください。※「冠」の「寸」は「リ」



企画展示室 4 9.9(火)～11.9(日)

アジアの激動と福岡ゆかりの人びと2

南公園(福岡市中央区)の「中山記念碑」は孫文(1866-1925)の生誕100年の記念碑。1913年来日時時の福岡の人びととの交流や当時の福岡の様子を紹介します。



福岡市博物館SNSのごあんない SNSにて展示やイベントに関する情報を発信しています。最新情報は各種SNSで「福岡市博物館」と検索し、下記アカウントをご確認ください。

@fukuokaC_museum

Fukuoka City Museum

fukuoka_city_museum

Fukuoka City Museum

企画展は、歴史・考古・民俗・美術の各分野の学芸員が企画しています。おもに、このような文化財からなる展示です。

